

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 森と木と水の環境教育推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部恵みの森づくり推進課 木育推進係 緑化推進係 電話番号：058-272-1111(内 3035)

E-mail：c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,930千円（前年度予算額：8,569千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	8,569	0	0	0	0	0	8,569	0	0
要求額	8,930	0	0	0	0	0	8,930	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

幼児期から高等学校まで段階的に木育・森林教育を進め、環境と人間と関わりを理解し自ら行動する人を育成するとともに、県民協働の森林づくりを推進する。

(2) 事業内容

① 森と木と水の環境教育支援

地域の自然を学び親しむ活動や森林づくり等の活動を体験する「緑と水の子ども会議」や「ぎふ木育教室」を開催。

② ぎふ木育指導者の養成

保育・教育機関の職員等を対象としたぎふ木育教室指導者研修会の開催。

③ 常設木育ひろばの活用

身近に「ぎふ木育」にふれることのできる施設を「ぎふ木育ひろば」として認定。地域支援拠点施設において、設置施設職員を対象に研修会を開催。

④ 大学との連携【拡充】

保育士や幼稚園教員を目指す学生を対象とした木育講座を開催。

(3) 県負担・補助率の考え方

清流の国ぎふ森林・環境基金充当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	4,415	講師等謝金
旅費	1,310	講師等費用弁償及び業務旅費
需用費	2,000	研修教材費、広報啓発経費等
役務費	5	通信運搬費等
使用料及び賃借料	1,200	研修会場、バス借上げ料
合計	8,930	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国」創生総合戦略

3 地域にあふれる魅力と活力づくり (1) 地域の魅力の創造・伝承・発信

②美しく豊かな環境の保全・継承

(環境教育の推進、担い手の育成・確保)

(3) 農林畜水産業の活性化

③「100年先の森林づくり」の推進

第3期岐阜県森林づくり基本計画

(3)人づくり及び仕組みづくりの推進

(2) 国・他県の状況

国は国有林をフィールドとして活用して推進している。また、ほぼ全ての都道府県で同様の森林に関わる体験活動を支援している。

(3) 後年度の財政負担

課税期間である令和8年度まで税込に依り事業を実施。

(4) 事業主体及びその妥当性

ぎふ木育30年ビジョンに基づき県が妥当である。

事業評価調査（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

保育・教育機関において、森や木や水などの岐阜県の豊かな自然環境について正しく理解するための体験・学習活動の実施を支援し、森林に対して責任のある行動をとることのできる人づくりを行う。また、それらの活動が段階的・継続的に取り組まれるよう指導者の育成を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H22)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
ぎふ木育教室・緑と水の子ども会議参加者数(延べ)	—	5,198	6,700	6,800	6,800	76.4%
木育指導者養成数(延べ)	—	556	650	—	—	85.5%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・県内 114 箇所の施設で、ぎふ木育教室及び緑と水の子ども会議を開催 ・ぎふ木育教室指導者研修を 2 回開催し、延べ 66 名が受講 ・1 施設をぎふ木育ひろば地域支援拠点に認定 ・ぎふ木育ひろば向けフォローアップ研修を 1 回開催
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>将来の森林づくりを担う人材のみならず、消費活動等を通じて森林づくりを支える県民を育てることにつながるため、他の各施策の土台として事業の必要性は高い。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：まだ期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>事業を活用する施設、研修の受講者数ともに増加しており、ぎふ木育の普及が進んでいる。</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	<p>事業の趣旨や手続きの流れを保育・教育機関へ丁寧に説明を行っている。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 事業実施地域に偏りがあるため、「ぎふ木育」を県内全域に普及する必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 「ぎふ木育 30 年ビジョン」に基づき、本県の森林に愛着をもち、森林に対して責任ある行動をとることできる人づくりに向けて、成長段階に合わせた「ぎふ木育」を実施する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	